



2026年3月期 第2四半期(中間期)決算短信(日本基準)(連結)

2025年10月31日

上場会社名 南海電気鉄道株式会社

上場取引所 東

コード番号 9044 URL <https://www.nankai.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 岡嶋 信行

問合せ先責任者 (役職名) 財務経理部長 (氏名) 武田 敏之

TEL 06-6644-7141

半期報告書提出予定日 2025年11月10日

配当支払開始予定日

2025年12月5日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第2四半期(中間期)の連結業績(2025年4月1日～2025年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年中間期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期中間期	126,516	2.4	21,683	18.8	20,741	4.6	14,084	12.2
2025年3月期中間期	123,579	5.0	18,256	28.2	19,822	49.4	12,550	41.5

(注) 包括利益 2026年3月期中間期 20,441百万円 (98.0%) 2025年3月期中間期 10,323百万円 (23.5%)

	1株当たり中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期中間期	125.55	
2025年3月期中間期	110.84	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期中間期	1,001,098	338,906	31.9
2025年3月期	981,014	329,865	31.7

(参考) 自己資本 2026年3月期中間期 319,637百万円 2025年3月期 311,266百万円

(注) 2026年3月期中間連結会計期間において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、2025年3月期に係る各数値については、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期		17.50		22.50	40.00
2026年3月期		25.00			
2026年3月期(予想)				25.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の連結業績予想(2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	271,400	4.1	38,500	11.0	35,900	0.8	22,600	0.2	205.33

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

2026年3月期中間連結会計期間において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、2025年3月期に係る各数値については、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させております。これに伴い対前期増減率についても反映後の数値にて計算しております。

注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 有

新規 - 社 (社名) - 、除外 1社 (社名) 泉北高速鉄道株式会社

(注) 詳細は、添付資料9ページ「2. 中間連結財務諸表及び主な注記(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項(連結範囲の重要な変更に関する注記)」をご覧ください。

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2026年3月期中間期	113,402,446 株	2025年3月期	113,402,446 株
期末自己株式数	2026年3月期中間期	3,991,340 株	2025年3月期	175,306 株
期中平均株式数(中間期)	2026年3月期中間期	112,185,324 株	2025年3月期中間期	113,230,057 株

(注) 期末自己株式数には、役員向け株式報酬として株式交付信託が保有する当社株式が以下のとおり含まれております。

2026年3月期中間期: 81,800株 2025年3月期: 92,600株

また、役員向け株式報酬として株式交付信託が保有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。

2026年3月期中間期: 84,443株 2025年3月期中間期: 92,600株

第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手方法について)

・決算補足説明資料は、本日、当社ホームページに掲載するとともに、TDnetで開示しております。

・決算説明会につきましては、2025年11月13日(木)に機関投資家・アナリスト向け説明会を開催する予定です。また、この説明会で配布する資料につきましては、開催後、速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態の概況	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
中間連結損益計算書	6
中間連結包括利益計算書	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	9
(連結範囲の重要な変更に関する注記)	9
(セグメント情報等の注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(継続企業の前提に関する注記)	9

1. 経営成績等の概況

(1) 当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間の業績は、運輸業における大阪・関西万博の効果やインバウンド需要の拡大等による輸送人員の増加や、昨年度に子会社化した明光バス株式会社(2024年10月)、通天閣観光株式会社(2024年12月)の寄与もあり、営業収益は1,265億16百万円(前年同期比2.4%増)となり、営業利益は216億83百万円(前年同期比18.8%増)、経常利益は207億41百万円(前年同期比4.6%増)、親会社株主に帰属する中間純利益は140億84百万円(前年同期比12.2%増)となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

<運輸業>

運輸業は、大阪・関西万博の効果やインバウンド需要の拡大等による鉄道事業及びバス事業における輸送人員の増加や、2024年10月に子会社化した明光バス株式会社の寄与もあり、営業収益は591億11百万円(前年同期比6.8%増)となり、営業利益は98億90百万円(前年同期比28.0%増)となりました。

<不動産業>

不動産業は、不動産賃貸業における大阪・関西万博の効果やインバウンド需要の拡大等によるホテル物件の増収があったものの、不動産販売業において当期のマンション販売が下期中心となっていること等により、営業収益は208億68百万円(前年同期比1.2%減)となり、営業利益は65億37百万円(前年同期比1.0%減)となりました。

<流通業>

流通業は、駅ビジネス事業においてコンビニエンスストアの売上が好調に推移したこと等により、営業収益は152億10百万円(前年同期比6.4%増)となり、営業利益は23億81百万円(前年同期比11.7%増)となりました。

<レジャー・サービス業>

レジャー・サービス業は、ビル管理メンテナンス業においてビルメンテナンス収入が増加したことや、2024年12月に子会社化した通天閣観光株式会社の寄与もあり、営業収益は230億26百万円(前年同期比13.7%増)となり、営業利益は19億89百万円(前年同期比83.5%増)となりました。

<建設業>

建設業は、完成工事高の減少等により、営業収益は226億7百万円(前年同期比2.8%減)となりましたが、利益率の向上等により、営業利益は10億90百万円(前年同期比71.2%増)となりました。

<その他の事業>

その他の事業の営業収益は15億44百万円(前年同期比12.8%増)となり、営業損失は73百万円(前年同期は営業損失1億73百万円)となりました。

(2) 当中間期の財政状態の概況

①資産、負債及び純資産の状況

資産の部では、(仮称)北大阪トラクタターミナルⅡ期棟工事の進捗等による建設仮勘定の増加や販売用不動産の取得等による商品及び製品の増加がありましたが、その支払い等に備え確保していた現預金を適正化いたしました。この結果、前連結会計年度末に比べ200億84百万円増加の1兆10億98百万円となりました。

負債の部では、支払手形及び買掛金の減少があったものの、有利子負債残高の増加等により、前連結会計年度末に比べ110億42百万円増加の6,621億92百万円となりました。

純資産の部では、自己株式の取得や剰余金の配当による減少があったものの、親会社株主に帰属する中間純利益の計上や保有上場株式の時価上昇によるその他有価証券評価差額金の増加等により、前連結会計年度末に比べ90億41百万円増加の3,389億6百万円となりました。

また、自己資本比率は前連結会計年度末比で0.2ポイント上昇し、31.9%となりました。

なお、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定に伴い、前連結会計年度に係る各数値については、取得原価の当初配分額の見直しが反映された後の数値を使用しております。

②キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、売上債権の回収による収入が増加したものの、棚卸資産の増加や仕入債務の減少等により、前中間連結会計期間に比べ42億88百万円収入が減少し、99億29百万円の流入となりました。

当中間連結会計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、固定資産の取得による支出が増加したこと等により、前中間連結会計期間に比べ126億51百万円支出が増加し、312億67百万円の流出となりました。

当中間連結会計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、自己株式の取得による支出が増加したものの、長期借入れによる収入が増加したこと等により、前中間連結会計期間に比べ239億80百万円収入が増加し、39億83百万円の流入となりました。

以上の結果、現金及び現金同等物の当中間連結会計期間末残高は、前連結会計年度末に比べ173億54百万円減少し、247億77百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、最近の業績動向等を踏まえ、前回発表時(2025年7月30日)の予想数値を変更いたしました。詳細につきましては、本日公表の「2025年度 第2四半期(中間期) 決算補足説明資料」をご参照ください。

なお、業績予想につきましては、現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2026年3月期の連結業績予想数値の修正

	営 業 収 益	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に帰属 する当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 271,200	百万円 36,600	百万円 33,600	百万円 21,700
今回発表予想(B)	271,400	38,500	35,900	22,600
増 減 額 (B-A)	200	1,900	2,300	900
増 減 率 (%)	0.1	5.2	6.8	4.1
(ご参考) 前期実績(2025年3月期)	260,787	34,681	35,599	22,548

(注) 2026年3月期中間連結会計期間において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、2025年3月期に係る各数値については、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させております。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	42,849	25,726
受取手形、売掛金及び契約資産	35,670	24,626
商品及び製品	23,403	38,526
仕掛品	644	822
原材料及び貯蔵品	3,394	3,317
その他	14,364	17,032
貸倒引当金	△127	△78
流動資産合計	120,200	109,973
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	342,017	335,847
土地	358,332	365,409
建設仮勘定	31,643	51,003
その他(純額)	37,637	35,873
有形固定資産合計	769,629	788,134
無形固定資産	9,950	10,085
投資その他の資産		
投資有価証券	60,055	71,875
退職給付に係る資産	6,928	7,024
その他	14,653	14,343
貸倒引当金	△403	△337
投資その他の資産合計	81,234	92,905
固定資産合計	860,814	891,125
資産合計	981,014	1,001,098

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	23,493	14,738
短期借入金	77,361	66,950
1年以内償還社債	20,000	10,000
未払法人税等	5,055	6,183
賞与引当金	3,438	3,390
その他	59,772	66,085
流動負債合計	189,121	167,347
固定負債		
社債	110,000	110,000
長期借入金	225,589	255,684
退職給付に係る負債	17,472	17,614
その他	108,966	111,545
固定負債合計	462,028	494,845
負債合計	651,149	662,192
純資産の部		
株主資本		
資本金	72,983	72,983
資本剰余金	28,185	28,215
利益剰余金	151,125	162,660
自己株式	△473	△9,252
株主資本合計	251,821	254,607
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	21,653	27,855
土地再評価差額金	34,275	34,275
退職給付に係る調整累計額	3,516	2,897
その他の包括利益累計額合計	59,445	65,029
非支配株主持分	18,598	19,269
純資産合計	329,865	338,906
負債純資産合計	981,014	1,001,098

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書
(中間連結損益計算書)

(単位: 百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
営業収益	123,579	126,516
営業費		
運輸業等営業費及び売上原価	101,506	100,604
販売費及び一般管理費	3,816	4,228
営業費合計	105,322	104,832
営業利益	18,256	21,683
営業外収益		
受取利息	13	32
受取配当金	3,094	833
雑収入	287	506
営業外収益合計	3,395	1,372
営業外費用		
支払利息	1,584	1,963
雑支出	244	350
営業外費用合計	1,828	2,314
経常利益	19,822	20,741
特別利益		
工事負担金等受入額	8,894	289
その他	85	111
特別利益合計	8,980	401
特別損失		
工事負担金等圧縮額	8,890	280
その他	1,498	44
特別損失合計	10,389	325
税金等調整前中間純利益	18,413	20,817
法人税、住民税及び事業税	4,357	5,714
法人税等調整額	1,179	474
法人税等合計	5,537	6,189
中間純利益	12,876	14,628
非支配株主に帰属する中間純利益	326	544
親会社株主に帰属する中間純利益	12,550	14,084

(中間連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
中間純利益	12,876	14,628
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,294	6,443
退職給付に係る調整額	△258	△630
その他の包括利益合計	△2,552	5,813
中間包括利益	10,323	20,441
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	10,103	19,668
非支配株主に係る中間包括利益	219	773

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	18,413	20,817
減価償却費	13,830	13,968
工事負担金等圧縮額	8,890	280
受取利息及び受取配当金	△3,108	△865
支払利息	1,584	1,963
工事負担金等受入額	△8,894	△289
売上債権の増減額 (△は増加)	△712	13,543
仕入債務の増減額 (△は減少)	△7,063	△15,844
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△2,660	△15,244
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△839	1,075
その他	△18	△3,789
小計	19,421	15,614
利息及び配当金の受取額	3,107	864
利息の支払額	△1,550	△1,976
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△6,761	△4,573
営業活動によるキャッシュ・フロー	14,218	9,929
投資活動によるキャッシュ・フロー		
固定資産の取得による支出	△17,065	△33,856
工事負担金等受入による収入	5,695	4,583
投資有価証券の取得による支出	△7,258	△3,870
投資有価証券の売却及び償還による収入	3	1,506
その他	9	370
投資活動によるキャッシュ・フロー	△18,616	△31,267
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△190	△4,620
コマーシャル・ペーパーの純増減額 (△は減少)	7,000	7,000
長期借入れによる収入	3,360	40,460
長期借入金の返済による支出	△25,791	△16,155
社債の発行による収入	9,931	—
社債の償還による支出	△10,000	△10,000
配当金の支払額	△3,933	△2,533
自己株式の取得による支出	△5	△8,808
その他	△367	△1,358
財務活動によるキャッシュ・フロー	△19,996	3,983
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△24,394	△17,354
現金及び現金同等物の期首残高	42,402	42,131
現金及び現金同等物の中間期末残高	18,008	24,777

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(連結範囲の重要な変更に関する注記)

当中間連結会計期間において、当社の連結子会社でありました泉北高速鉄道株式会社は、当社を存続会社とする吸収合併により消滅したため、連結の範囲から除外しております。

(セグメント情報等の注記)

Ⅰ 前中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	運輸業	不動産業	流通業	レジャー・サービス業	建設業	その他の事業	合計	調整額 (注) 1	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 2
営業収益									
外部顧客への営業収益	54,769	20,543	13,993	15,179	19,034	59	123,579	—	123,579
セグメント間の内部 営業収益又は振替高	571	586	306	5,064	4,224	1,309	12,062	△12,062	—
計	55,341	21,130	14,299	20,243	23,259	1,368	135,642	△12,062	123,579
セグメント利益 又は損失(△)	7,728	6,602	2,131	1,084	637	△173	18,010	246	18,256

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ 当中間連結会計期間(自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	運輸業	不動産業	流通業	レジャー・サービス業	建設業	その他の事業	合計	調整額 (注) 1	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 2
営業収益									
外部顧客への営業収益	58,416	20,216	14,768	17,711	15,350	53	126,516	—	126,516
セグメント間の内部 営業収益又は振替高	695	651	442	5,315	7,257	1,490	15,852	△15,852	—
計	59,111	20,868	15,210	23,026	22,607	1,544	142,369	△15,852	126,516
セグメント利益 又は損失(△)	9,890	6,537	2,381	1,989	1,090	△73	21,817	△133	21,683

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。